

平成二十五年 九月 作品

鰯雲 母ある限り ふるさとへ (一江)

青空を 写す川面や 鯿(ぼら)の群 (隆治)

街中も 鎮守の杜も 蝉しぐれ (正雄)

父母の亡き 故郷は今 稲の秋 (前歩)

竜巻の 爪跡あはれ 赤とんぼ (由美)

施食会の 経に溶け込む 蝉しぐれ (孝昭)

山畑に 一面の白 蕎麦の花 (平六)

油蝉 しがみつきたる 網戸かな (貴美)

たつぷりの 陽をあび甘き 葡萄かな (正佳)

姥捨の 田毎の稲穂 色づきぬ (奉男)